



ピアノ
小曾根真

1983年パークリー音大を首席で卒業。同年米CBSより全世界デビュー。以来、ゲイリー・パートン、チック・コリア、ブランフォード・マルサリスなど、トッププレイヤーとの共演や、自身のビッグ・バンド「No Name Horses」を率いてのツアーなど、ジャズの最前線で活躍。2003年グラミー賞ノミネート。ニューヨークフィル、NDRエルプフィルハーモニー等、国内外の主要オーケストラとも共演を重ねる。2021年の選暦の節目には、「OZONE60」プロジェクトを全国47都道府県で催行。2023年シーズンは、ハリウッド・ボウルへの出演や、世界最高峰のビッグバンドの1つWDRビッグバンドとの共演や、世界的ベース奏者アヴィシヤイ・コーエンとの世界ツアーを始動するなど、今後は海外拠点での躍進が続く。2025年には20周年を迎えるNo Name Horsesとともに、新譜をリリース、及び、全国ツアーを催行。近年は、「From OZONE till Dawn」と題した若手音楽家のプロジェクトにも取り組み、2024年には自身の最新トリオ「小曾根真TRiNFiNITY」を結成し国内外で活動。平成30年度紫綬褒章受章。

MAKOTO OZONE × KENTO TSUBOSAKA

1994年神奈川県横浜市出身。慶應義塾大学を経てパークリー音楽院を首席で卒業。演奏家としてのみならず、作曲、編曲家としても多くのアーティストとのコラボレーションを重ねる。2022年より小曾根真が主宰するプロジェクト「From OZONE till Dawn」に参加。2024年にソロ・ピアニストとしてのデビュー・アルバム「When I Sing」をユニバーサル・ミュージック (Verve) よりリリース。2024年5月「ラブソディ・イン・ブルー」を東京フィルハーモニー交響楽団との初共演やリサイタルなどでピアニストとして本格始動。海外でも2023年7月にはスペインのサン・セバスティアン国際ジャズフェスティバルに、また、2025年1月にはフランスのナントにて開催されたラ・フォル・ジュルネに招待されるなど活躍の場を広げる。石川紅奈とのユニット「soraya」ではFUJI ROCK FESTIVAL '24に出演。現在、トランペットの松井秀太郎とタッグを組んだツアーでは新世代ジャズを体現するアーティストとして注目を集め、ジャンルを超えた逸材として期待されている。



ピアノ
壺阪健登

©Sakiko Nomura

テルサメンバーズクラブ入会のご案内

音楽や舞台芸術を愛するみなさまと、山形テルサをつなぐ会員制度です。ご入会いただくとチケットのWEB購入など各種特典があります。

■ 有料会員【年会費】**2,000円** チケットのWEB購入 先行販売 割引購入 公演情報サービス など

■ 無料会員【年会費】**無 料** チケットのWEB購入 公演情報サービス

YAMAGATA TERRSA WEB TICKET
山形テルサ
WEB チケット

会員
募集中!!



公式 X



アクセス



P 有料駐車場

- ・JR山形駅西口から徒歩約3分
- ・お車で越しの方は、お近くの駐車場をご利用ください。また、混雑が予想されますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。